



沖縄の伝統文化「空手」を盛り上げていきます！ ～沖縄空手の保存・継承・発展～

1 世界に広がる「平和の武」

沖縄を発祥の地とする伝統文化の一つである空手は、厳しい修行で体を鍛えるとともに、「空手に先手なし」などの先人の言葉に表されるように心を磨き礼節を重んじる「平和の武」として受け継がれてきました。

空手の素晴らしさに魅了され、今や世界中に1億3000万人の空手愛好家がいるとされています。県では、沖縄が世界に誇る文化となった空手を後世へ残していくため、空手の技の保存・継承や、

国内外への普及・発展に取り組んでいます。

2 次世代への空手の継承

県では、次世代を担う後継者や指導者を育成するため、流派別の技術講習会などを行うほか、沖縄空手の技、精神性、指導の方法などを継承する取り組みを進めています。

また、県内の保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校などへ空手指導者を派遣し、空手に触れる機会づくりを行っています。

3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信

空手が沖縄発祥であることをPRするため、県内外のイベントに沖縄空手家を派遣し、演武を披露しています。

また、豊見城市にある沖縄空手会館を「空手発祥の地・沖縄」の情報発信の拠点とし、国内外からの空手に関する問い合わせに対応しています。さらに歴史資料の保存・展示、沖縄観光に訪れた方を対象とした空手体験会の開催なども行っています。



沖縄空手会館での空手体験の様子

4 世界中の空手愛好家が沖縄へ

県では、世界中の空手愛好家を対象に沖縄空手の世界大会や、10月25日の「空手の日」を記念した演武祭などを開催しています。

今年8月には、15歳以下を対象とした「第2回沖縄空手少年少女世界大会」の開催が予定され

沖縄空手キャラクター「琉空太郎」



沖縄空手会館

©2023 一般社団法人沖縄伝統空手道振興会

TM

5 沖縄空手をユネスコ無形文化遺産に

今後、空手の聖地である沖縄を目指して、世界中から多くの空手愛好家が訪れることができるよう受入体制を強化していきます。

沖縄空手は、沖縄の独特な歴史や風土の中で育まれ今日まで大切に受け継がれてきました。地域に根ざした町道場での鍛錬、お祭りやお祝いの場などでの演武のほか、学校教育に取り入れられるなど、沖縄空手は沖縄の人々の暮らしの一部となっています。

貴重な文化である沖縄空手を次世代へ正しく保存・継承するため、県では、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産への登録を目指し、さまざまな取り組みを進めています。

問い合わせ 空手振興課 電話：098-866-2232 FAX：098-866-2208



4月から6月までの間は犬の狂犬病予防注射期間です

お住まいの市町村の集合注射日程はこちら▶

